

# 公共事業再評価調書

整理番号 H17 - 35

担当部課名 県土整備部 都市計画課	電話番号 0 1 7 - 7 3 4 - 9 6 8 2
	E - MAIL toshkei @ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 ( 1 0 年 )	再評価後 ( 年 )	その他 ( )
---------	-----	----------------	------------	---------

## 1 事業概要

事業種別	街路事業		事業主体	県 市町村 その他 ( )			
事業名	街路事業		地区名等	3・4・4号 観音林脇雑吉沢線	市町村名	野辺地町	
事業方法	国庫補助	県単独	財源・負担区分	国 55 %	県 30 %	市町村 15 % その他 %	
採択年度	平成 8 年度 ( 用地着手 平成 9 年度 / 工事着手 平成 12 年度 )						
終了予定年度	平成 19 年度 ( 平成 16 年 3 月 工期変更 当初計画時 平成 17 年度 )						
事業目的	・野辺地町の中心市街地と市街地を縦断する国道 279 号と国道 279 号バイパスをアクセスする幹線道路である。しかし、現道は幅員も狭く歩道も設置されていないため、円滑な都市交通、自転車歩行者の安全確保のため、本路線整備が急務となっている。						
主要内容	区 分	当初計画時	再評価時	増 減			
	道路工	612 m	612 m	0 m			
事業内容については、当初計画時と変更はない。							
事業費	当初計画時総事業費 1,250 百万円 ( 単位 : 百万円 )						
		~ 14 年度	15 年度	16 年度	17 年度	小 計	18 年度 ~ 合 計
	計 画	764	110	170	206	1,250	0 1,250
	(うち用地費)	( 554 )	( 40 )	( 69 )	( 0 )	( 663 )	( 0 ) ( 663 )
16年3月変更							
実 績	764	110	100	100	1,074	176 1,250	
(うち用地費)	( 554 )	( 40 )	( 1 )	( 68 )	( 663 )	( 0 ) ( 663 )	

## 2 評価指標及び項目別評価

### (1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況			計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	事業費割合		85.9 % [ / ]	85.9 % [ / ]
	(うち用地費)		( 100 % ) [ / ]	( 100 % ) [ / ]
	主要工種 毎割合 (事業費)	道路工事 ( 587 百万円 )	70.0 %	70.0 %
用 地 ( 663 百万円 )		100 %	100 %	
説 明	・用地取得に期間を要したものの、阻害要因なく平成 19 年度完了する見込みである。			
問題点・ 解決見込み	・事業実施にあたっての、阻害要因なく平成 19 年度完了する見込みである。			
事業効果 発現状況	_____			

## (2) 社会経済情勢の変化

(A) ・ B ・ C

社会的評価	全国・本県における評価	<p>[全国の評価]</p> <p>平成15年度以降の五箇年間の道路整備は、各事業分野と整合性の確保を図りながら、スピーディなサービス提供、既存ストックの有効活用、事業の透明性、既存制度の見直し等の視点に立ち、活力、暮らし、安全、環境の各施策テーマについて重点的、効果的かつ効率的に進めている。</p>	<p>[県内の評価]</p> <p>健康で文化的な都市生活と機能的な都市活動を確保する都市内道路のネットワークを形成する街路事業であるが整備率は全国平均53.2%東北6県47.0%に対し、青森県は36.3%(45位)と低いため街路整備に対する要望は多い。</p>
	当地区における評価	<p>・野辺地町、上十三地域広域市町村圏協議会要望を受けている。</p>	
必要性	<p>・都市計画決定している県道（一般県道・水喰野辺地線）である。</p> <p>・都市内・広域交通ネットワークを形成する道路である。</p>		(a) ・ b
適時性	<p>・市街地内の良好な交通体系を形成できる。</p>		(a) ・ b
地元の推進体制等	<p>・事業に対する反対運動もなく、地域住民の理解と地権者の協力を得ており、事業の早期完成に努めている。</p>		(a) ・ b
効率性	<p>・都市内の景観向上が図られる。</p> <p>・広幅員の道路であるため、防火帯の役割がある。</p>		

## (3) 費用対効果分析の要因変化

(A) ・ B ・ C

区分	主な項目	当初計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1)事業費	百万円	1,347 百万円	1,347 百万円
	(2)維持管理費	百万円	44 百万円	44 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	- 百万円	1,391 百万円	1,391 百万円
便益項目 (B)	(1)走行時間短縮便益	百万円	1,866 百万円	1,866 百万円
	(2)走行経費減少便益	百万円	1 百万円	1 百万円
	(3)交通事故減少便益	百万円	13 百万円	13 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	- 百万円	1,854 百万円	1,854 百万円
B / C			1.33	
<p>[費用対効果分析手法] (分析手法、根拠マニュアル等)</p> <p>「費用便益分析マニュアル」(道路局、都市・地域整備局)及び「街路事業における費用便益分析マニュアル(案)」</p> <p>[費用対効果分析における特記事項]</p> <p>街路事業の費用対効果分析は平成10年度より行われており、平成8年新規の本事業は当初計画時に行っていない。</p>				

## (4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A)・B・C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 ・路盤材・舗装材に再生材を使用し経費の縮減を図っている。 ・建設発生土を盛土材料に利用し経費の縮減を図っている。	(a)・b
代替案	【代替案の検討状況】 ・ルートは都市計画決定された道路である。	(a)・b

## (5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A)・B・C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 野辺地町要望。	【住民ニーズ・意見】 早期整備の要望意見が出されている。	(a)・b		
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 <table border="1" data-bbox="363 913 632 949"> <tr> <td>地域区分</td> <td>H4 a</td> </tr> </table> (1)対応状況 配慮している 配慮していない (2)対応内容 切土部及び盛土部の法面処理を芝付けで緑化を図り、身近にふれあえる緑の創造に努めている。	地域区分	H4 a	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 (1)対応状況 配慮している 配慮していない (2)対応内容 住宅地であるため、工事の施工に関しては低振動、低騒音機械を導入し、また、道路整備に関しては歩車道の分離等環境に配慮している。	(a)・b
地域区分	H4 a				
地域の立地特性	_____		1		

## 3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続                      計画変更                      中止                      休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	継続して事業を進め、事業効果の発現を図る。
備考	

## 4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり                      対応方針(案)を修正すべき
委員会評価	継続                      計画変更                      中止                      休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見	
評価理由	